

堀米ゆず子ピアノトリオ 偉大な芸術家の 思い出に



津田裕也(ピアノ)



金子鈴太郎(チェロ)

堀米ゆず子(ヴァイオリン)

program

チャイコフスキー：偉大な芸術家の思い出に
J.S.バッハ：ヴァイオリンとピアノのためのソナタ
BWV1016
ベートーベン：ピアノソナタ「熱情」

2023

6/10

(土)17:00 開演(16:30開場)

釜石市民ホール

TETTO

(大ホール)

主催◎宗教法人石應禅寺 釜石大観音 共催◎釜石市民ホール 協賛◎たわわスタジオ

※就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。

Profile

堀米ゆず子(ヴァイオリン)



5歳からヴァイオリンを久保田良作氏のもとで始め、1975年より江藤俊哉氏に師事。1980年桐朋学園大学卒業。同年エリーザベト王妃国際音楽コンクールで日本人初の優勝を飾る。以来ベルリン・フィル、ロンドン響、シカゴ響、クラウディオ・アバド、小澤征爾、サイモン・ラトルなど世界一流のオーケストラ、指揮者との共演を重ねている。

世界中の音楽祭に数多く招かれ、その中にはマールボロ音楽祭、クレーメル主宰するロッケンハウス音楽祭、ルガーノアルゲリッチ音楽祭(スイス)などがある。室内楽にも熱心に取り組んでおり、これまでにルドルフ・ゼルキン、アルゲリッチ、クレーメル、マイスキーなどと共演。また、2011年東日本大震災に対し、微力ながら手助けになる事を願って、毎年ブリュッセルに於いて「復興コンサート」を行なっている。2020年1月には和歌山市加太を拠点に「堀米ゆず子国際ヴァイオリンマスタークラス」を行った。

レコーディング活動も活発で、「J.S.バッハ：無伴奏ヴァイオリン・ソナタ&パルティータ全曲集」、「ブルッフ&ブラームス協奏曲」などがある。

2016年5月より仙台国際音楽コンクールヴァイオリン部門審査委員長。2015年7

月には、春秋社より著書「ヴァイオリニストの領分」を刊行。現在、ブリュッセル王立音楽院教授、マーストリヒト音楽院教授。使用楽器は、ヨゼフ・グアルネリ・デル・ジェス(1741年製)。

公式ホームページ：<https://yuzukohorigome.com/>

津田裕也 (ピアノ)



仙台市生まれ。東京藝術大学、同大学院修士課程を経て、ベルリン芸術大学においてパスカル・ドヴァイヨン氏に師事。07年仙台国際音楽コンクールにて第1位、および聴衆賞、駐日フランス大使賞を受賞。11年ベルリン芸術大学を最優秀の成績で卒業、その後ドイツ国家演奏家資格を取得。同年ミュンヘン国際コンクール特別賞受賞。

ソリストとして日本各地のオーケストラと共演するほか、東京・春音楽祭、仙台クラシックフェスティバル、武生国際音楽祭、木曽音楽祭などに定期的に招かれる。CDも継続的にリリースしており、最新盤は「ショパン：後期ピアノ作品集」(フォンテック)。室内楽活動にも積極的で、多くの著名な音楽家と共演を重ねる。特に、白井圭(vn)、門脇大樹(vc)とはトリオ・アコードを結成し、国内各地で演奏。20年にはベートーヴェンを収録したトリオ初のCDをリリースし、絶賛される。

これまでに、パスカル・ドヴァイヨン、ガブリエル・タッキーノ、ゴールドベルク山根美代子、角野裕、渋谷り子の各氏に師事。東京藝術大学准教授。

金子鈴太郎 (チェロ)



桐朋学園ソリスト・ディプロマコースを経て、ハンガリー国立リスト音楽院に学ぶ。国内外のコンクールで優勝、入賞。NHK「名曲アルバム」、NHK-FM「名曲リサイタル」等に出演。

バロックから現代曲までの幅広いレパートリーを演奏し、これまでに日本やハンガリー、オーストリアにおいて数々の世界初演をおこなう。

2003年～2007年 大阪交響楽団首席チェロ奏者、
2007年～2008年 大阪交響楽団特別首席チェロ奏者。
現在は各オーケストラにゲスト首席として招聘されるほか、サイトウ・キネン・オーケストラ、ジャパン・ヴィルトゥオーゾ・シンフォニー・オーケストラ等で活躍中。

トウキョウ・モーツァルトプレーヤーズ首席チェリスト、Super Trio 3℃、長岡京室内アンサンブル、東京バロックプレイヤーズ 各メンバー。

2022年4月より、響ホール室内合奏団首席チェロ奏者。

Music Dialogue アーティスト。